



# 安成 健一郎 新副町長就任の挨拶



苅田町副町長に選任されました安成 健一郎と申します。

私は、平成13年に福岡県職員に採用されてから23年、市町村行政、行政組織、国保制度改革、医療介護の提供体制構築等に携わるとともに、総務省への出向や市町村派遣を通じて、県職員とは異なる立場での業務も経験してまいりました。

このたび、地方行政の最前線で、住民の皆さまの生活に接しながら、仕事をやる機会をいただき、大変うれしく思いますとともに、副町長としての職務の重責に身を引き締まる思いであります。

苅田町は、自動車やセメント産業をはじめとする多くの企業が立地する日本でも有数の工業都市であり、陸・海・空のインフラも整備されています。また、自然や歴史、伝統文化にも触れることができる町でもあります。これから、苅田町が更なる発展をしていくためには、町が有するインフラ面等の恵まれた環境や自然文化などの地域資源を十分活かすことが重要と考えます。

また、アフターコロナ時代に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大もたらした、ライフスタイルの変化やデジタル化といった社会の変革にも適切に寄り添った行政運営を進めていく必要があると考えております。

私自身、微力ではございますが、町民、町議会をはじめとする皆様のご意見をお伺いしながら、苅田町が掲げる「一人ひとりが輝く「もっと」快適住みやすいまち 苅田」の実現に向け、職員と共に町行政を推進し、町民サービスの向上、町の発展に努めてまいりますので、よろしくようお願い申し上げます。

# 城野和幸 前副町長退任の挨拶



この度、令和6年3月末をもって苅田町副町長を退任し、4月1日に福岡県に復帰することになりました。

3年前の就任時は右も左も分からなかった私が、副町長の重責を担うことができましたのは、ひとえに議員をはじめとする町民の皆様のお力添え、ご支援があったからこそだと思っております。深く感謝を申し上げます。

この3年間を振り返ってみますと、コロナ禍ではありましたが、様々な取組みを進めることができたのではないかと思います。新型コロナウイルス感染症、デジタル化の推進、SDGsの推進、ワクチン接種、新たな農業

振興策の検討・実施、工場適地調査の実施、パンジープラザの廃止検討、湧水対策などが挙げられます。

私は、これらをはじめとする様々な取組みに対して、どうすることが町民の皆様をして町の将来の為にできるのかを一番に考えてまいりました。

今後も町民目線のよりよい取組みが講じられることを切に願っております。

私も、県に戻りましてからは、苅田町の発展を一県職員としてできる限り支援をさせていただきたいと思っております。

最後になりますが、今後の苅田町のさらなる発展と町民の皆様、そして関係者の皆様のご健勝と、さらなるご活躍をお祈り申し上げます、私の退任の挨拶いたします。

3年間、誠にありがとうございました。大変お世話になりました。



# 苅田町新庁舎建設 基本構想を策定しました 前編

## 庁舎の現状・課題

苅田町役場本庁舎は、昭和46年に完成し、その後2回の増築を経て、現在竣工から50年以上の経ちました。

このため、現庁舎には、

- 建物及び設備の老朽化
- 耐震性の不足
- 待合・駐車場などのスペース不足
- ユニバーサルデザインやデジタル化への対応

などの課題があります。また、本庁舎に隣接する三原文化会館や歴史資料館も、築40年を超え、同様の課題があります。

このような状況を踏まえ、本町では、令和5年度に外部の有識者や町民等で構成される「苅田町新庁舎建設検討委員会」を設置し、現状の課題、将来の町民ニーズ、社会的要求を念頭に新庁舎の基本理念・方針について取りまとめた構想を策定しました。

より詳しい内容を後編として次号でお伝えします。

## 町民ワークショップ参加者募集

新庁舎がどのようなようになってほしいか、どのような庁舎が便利かを一緒に考えてみませんか？



- 日時／
  - ▶ 6月22日(土) 10:00～12:00
  - ・テーマ「こんな役場になったらいいな」
  - ▶ 8月31日(土) 10:00～12:00 (予定)
  - ・テーマ「役場のなかはこうあったらいいな」
- 場所／三原文化会館一階
- 対象／町内在住・在職・在学の高中生以上
- 募集人員／20人程度
- ※応募者多数の場合は抽選。
- ※参加に伴う報酬はありません。
- 申込／5月17日(金)必着
- ①ハガキ：住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別・電話番号・職業を記入
- ②インターネット：QRコードから応募
- 問合せ／〒800-0392
- 苅田町富久町 1-19-1
- 苅田町役場施設管理室
- ☎ 093・588・1405

